

## 職場環境要件に対する当事業所の取り組み紹介

区分	職場環境要件	当事業所の取り組み
入職促進に向けた取組	法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	HPで理念やミッション、コアヴィジョンを公表し、具体的な取り組みを紹介している
	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	一人ひとりの生活パターンにあった勤務時間の希望をかなえている
	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	地域の小中学校高校での体験学習・授業や地域イベントへの参加、県社協の補助金を活用したサークル活動などを行っている
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	研修参加希望者への休みの調整や費用の援助を行っている
	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	キャリア段位制度の「できる項目」を基準とした人事考課制度を運用している
両立支援・多様な働き方の推進	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	子の看護休暇制度の整備、法人内の学童保育への費用の援助などを行っている
	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備	非正規職員には年2回の面接の際に正規職員への転換の紹介を行っている
	有給休暇が取得しやすい環境の整備	毎年度、誕生日をはじめ、年5回の希望有休を取得するようにしている。消化率は65%を超えている
	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	(株)ベネフィットステーションに加入し全国145万件以上の様々なサービスを利用できる。職員の相談窓口には社会福祉士、公認心理士を配置している
腰痛を含む心身の健康管理	介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施	理学療法士、作業療法士によるトランスファー研修、抱え上げない介護に必要な機材の導入を行っている
	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	健康診断やストレスチェックは勤務時間の長短にかかわらず全員実施している。R2年度は「BESS」のログハウスを建設し職員の休憩室としている
	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	
	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	事故や苦情処理に関するマニュアルを整備し、すぐに手に取れるよう各セクションに設置している
生産性向上のための業務改善の取組	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	タブレット端末を活用した記録業務の短縮や「チャットワーク」を活用した業務短縮を行っている
	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化	65歳以上の者を14名雇用している
	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	業務マニュアルを整備、記録には専用ソフトとタブレットを活用し作業負担の軽減を図っている
やりがい・働きがいの醸成	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善	年に2回の面談のほか、入職時から2週間目、1ヶ月目、3ヶ月目の面談を行うほか随時の面談を行っている
	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	年に数回地域の小中高校に授業に出向いている